

# 常陸大宮市生活支援体制整備事業

地域ごとの話し合いや情報交換の場づくり、仕組みづくり等を行うことによってさまざまな生活課題解決や生きがいづくりに向けた住民同士のきめ細かい助け合い活動等を実現するための事業です。

常陸大宮市では、市全体のことを話し合う第1層協議体と、生活圏域のことを話し合う第2層協議体を7か所で設置して活動しています。

第2層協議体では、地域住民の活動(資源)を共有したり、地域の「あったらいいね」などをその地域ならではの支え合いの仕組み作りをできる範囲で考えたり、話し合ったりしています。

それぞれの協議体の様々な活動の様子を今号では「山方茶話会」「みわ茶話会」を紹介します。



## 山方茶話会

圏域 山方地域



訪問した結果を振り返り



生活の様子をお聞きする

山方地域全域の第2層協議体として、昨年度から「山方を知ろう」という取り組みを行っています。1月発行の生活支援体制整備事業広報にも掲載予定です。地形や環境についての特徴を知ること、例えば118号線からの距離などを身をもって体感したり、お隣が遠いとどんなふうに関心しているのかといったことを生活されている高齢者の自宅を訪問して、直接お話をお聞きしました。住み慣れた家で暮らすことは、「ぼつんと一軒家」のようでも、不便が多少あっても、寂しさがあっても「家が好き」と言われていたことが印象的でした。住み慣れた家で暮らしていくことは、工夫や住民同士の気の掛け合いでできることがあると感じました。



こんにやく発祥の地



諸沢のアジサイ園



休場展望台

訪問したときに地域の素晴らしい様子を再発見しました。諸沢を訪問した際の休場展望台からの眺め、地域の地形を利用した奥久慈トレイルレースを見学することができたり、こんにやく発祥の地や、地元の方が整備したあじさい園など。盛金訪問でお住まいの方から南北朝時代からの歴史の流れの話を聞く機会を得ました。地域の生活を知るには、歴史を知ったり実際に住んでいる場所を見ることが大切だと実感しました。

## みわ茶話会

圏域 美和地域



7/21会議



11/10の話し合い

7/21には地域の困りごと「買い物や通院が大変だ」という課題について「予約制乗合タクシー」「福祉タクシー利用料金助成事業」「ファミリーサポート事業」「移動販売よってく」について担当等から内容や利用の仕方についての説明を行い、質疑によって知らなかったことを知ることができ、利用される方や家族に知ってもらうために説明会等を企画するアイデアも出されました。

11/10は、1月発行の広報紙の効果などについて話し合いがされました。「社協だより」の紙面で地域の情報を発信して、知ってもらうことを次年度以降も実施していくことが大切であるという意見で一致しました。



説明を聞き利用について新たな発見がありました